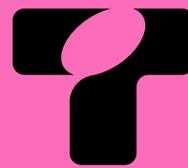


ペアライフ 暖房専用機

FS-1201ARS-W₆



TOHO GAS

取扱説明書

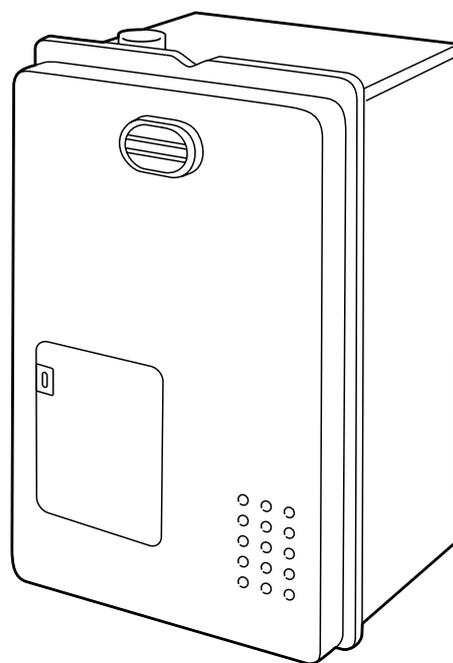
型式名

GH-1210W6H-2

ご愛用のみなさまへ

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、
ありがとうございました。

ご使用になる前にこの取扱説明書をお読み
いただき正しくご使用ください。



(FS-1201ARS-W₆)



もくじ

もくじ	1
必ずお守りください(安全上の注意)	2
各部のなまえとはたらき	6
初めてお使いになるときは	7
使いかた	
暖房(乾燥)する	8
暖房水の補給について	9
凍結による破損を予防する	10
日常の点検・手入れのしかた	11
故障・異常かな?と思ったら	12
アフターサービスについて	13
主な仕様	14
保証書	裏表紙

必ずお守りください(安全上の注意)1

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

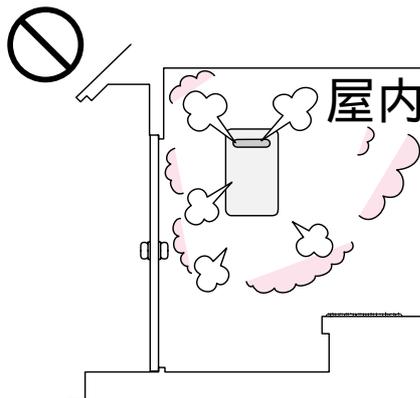
 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

	感電注意		禁止
	アース必要		火気禁止
	分解禁止		接触禁止

危険

屋内設置の禁止



この機器は屋外設置形です。屋内(浴室も含む)への設置は、絶対にしないでください。
一酸化炭素中毒の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)2

警告

ガス漏れ時の処置



火気禁止



ガス漏れに気づいたときは、次の1～2の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない。

電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。

周辺の電話も使用しない。

火や火花で引火し、火災のおそれがあります。

1. すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
2. 販売店または、当社営業所・サービスセンターに連絡する。

使用ガス、電源の確認



(銘板) 部分を確認してください。

型式	○○○○○
設置の方式	○○○○○
都市ガス用	
13A	
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	○○○○○
製造年	製造月

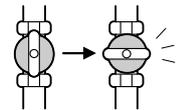
銘板(ラベル)に表示しているガスの種類(ガスグループ)以外では使用しないでください。

表示以外のガスで使用すると、異常な燃焼・点火の時の爆発などの原因になります。電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。

他の電源で使用すると、火災・感電の原因になります。

異常時・緊急時の処置

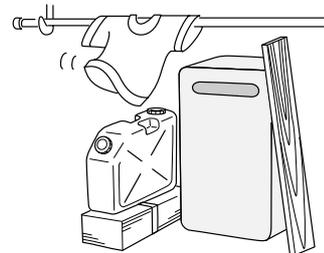
1. 放熱器の運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。



異常時(排気口から煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐに販売店または、当社営業所・サービスセンターにご連絡ください。

火災・感電・故障などの予防のため。

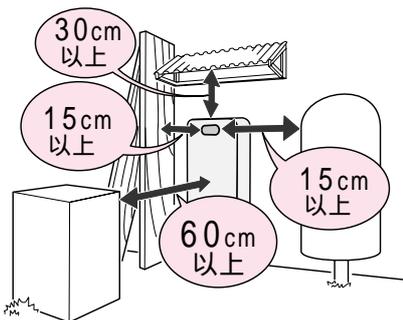
火災の予防



機器や排気口のまわりに燃えやすい物(新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。

火災の原因になります。

周囲の防火措置について



機器のまわりに燃えやすい物(樹木・木材・箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。

火災予防のため。

機器の分解禁止



分解禁止

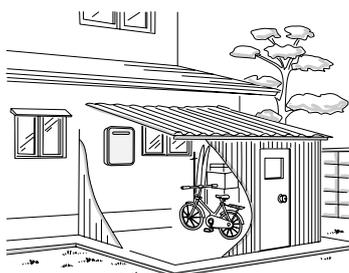
機器は絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

⚠ 警告

波板囲いなどの禁止

この機器は屋外設置形です。増改築などによって、屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



製品の設置・移動工事は

製品の設置・移動及び付帯工事は、販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。

思わぬ事故を予防するため。

やけどに注意

(床暖房が設置されている場合)

床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしないでください。

低温やけどの原因になります。

⚠ 注意

やけどに注意



接触禁止

排気口のまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。

やけど予防のため。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源プラグは確実に

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



しっかりと!

ア - スの確認



この機器には、ア - スが必要ですので確認してください。

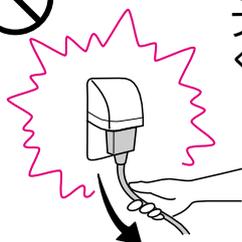
ア - スする! 機器が故障した場合、感電の原因になります。

抜き差しはプラグを持って



電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなってください。

電源ケーブルを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。



感電に注意



感電注意



電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。感電の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)3

⚠️ 注意

機器のまわりはきれいに

機器のまわりはいつもきれいにしておいてください。

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、本体の損傷や火災の原因になることがあります。

用途について

暖房・乾燥以外の用途には使用しないでください。

思わぬ事故を予防するため。

お願い

市販の補助用具使用について

この機器の純正部品以外は使用しないでください。

思わぬ事故を予防するため。

排気ガスについて

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置してください。

増改築時も同様に注意してください。

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

停電時の処置

停電したときは、運転が停止します。
(電源プラグを抜いたときも同じです。)
(放熱器の取扱説明書もご覧ください。)

この製品は一般家庭用です

業務用のような使い方をされると、製品の寿命を短くします。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合

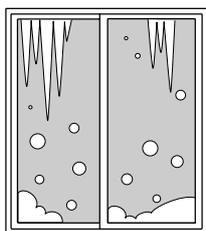
長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。(P10)

積雪時の注意

積雪時には給・排気口の点検、除雪をおこなってください。

給・排気口への積雪や屋根から落ちた雪により、給・排気口がふさがれて不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

凍結に注意



冬期は、凍結による機器の破損予防のため必要な処置をしてください。

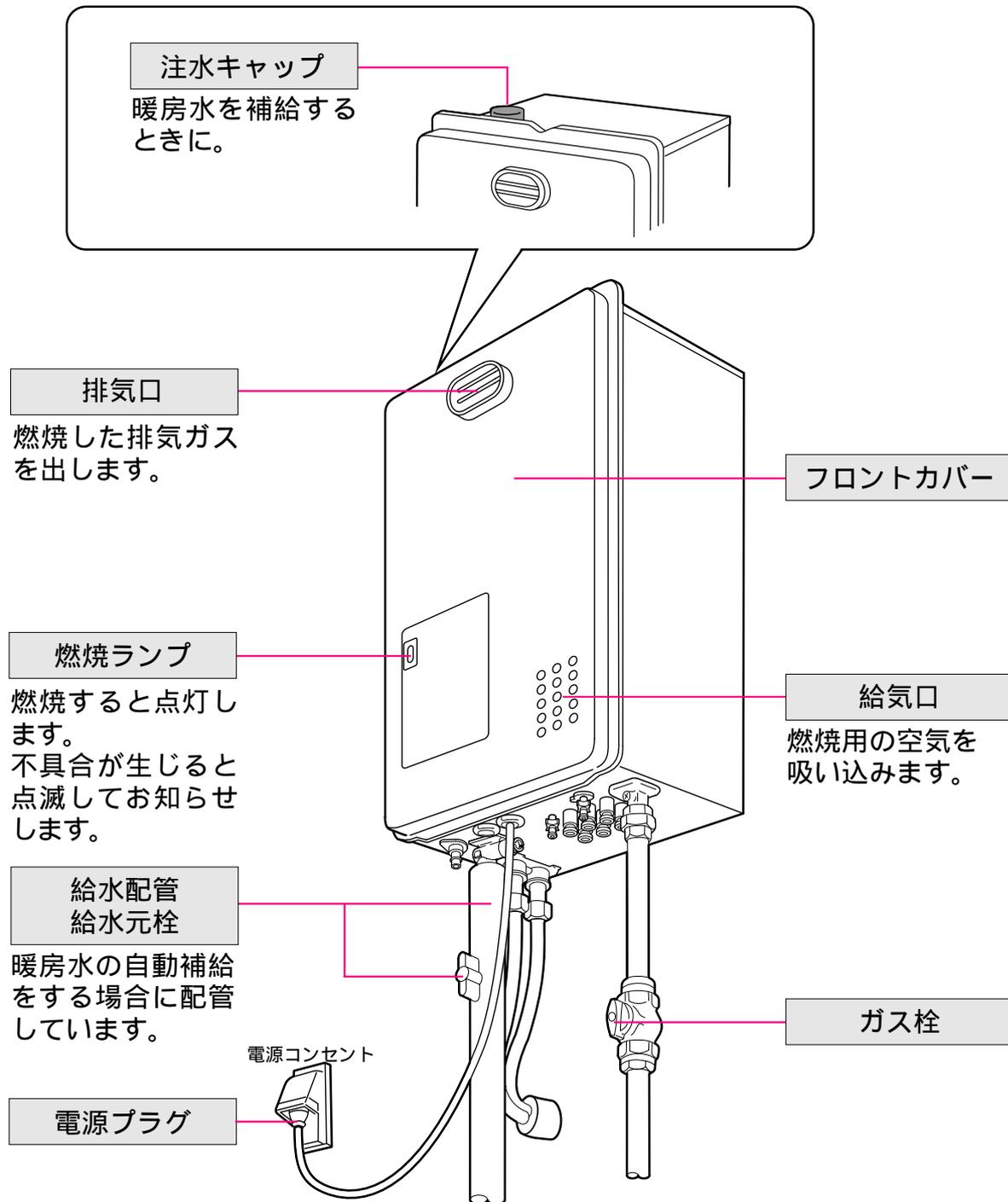
(P10)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

ガス事故防止

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

各部のなまえとはたらき



上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・
電源コンセントの位置など実際と
異なります。

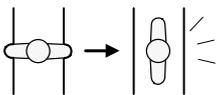
初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

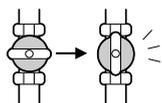
1 ~ 5 の手順でおこなってください。

1 すべての水抜き栓が閉まっていることを確認する。(水抜き栓  P10)

2 (給水配管のある場合)
給水元栓を全開にする。

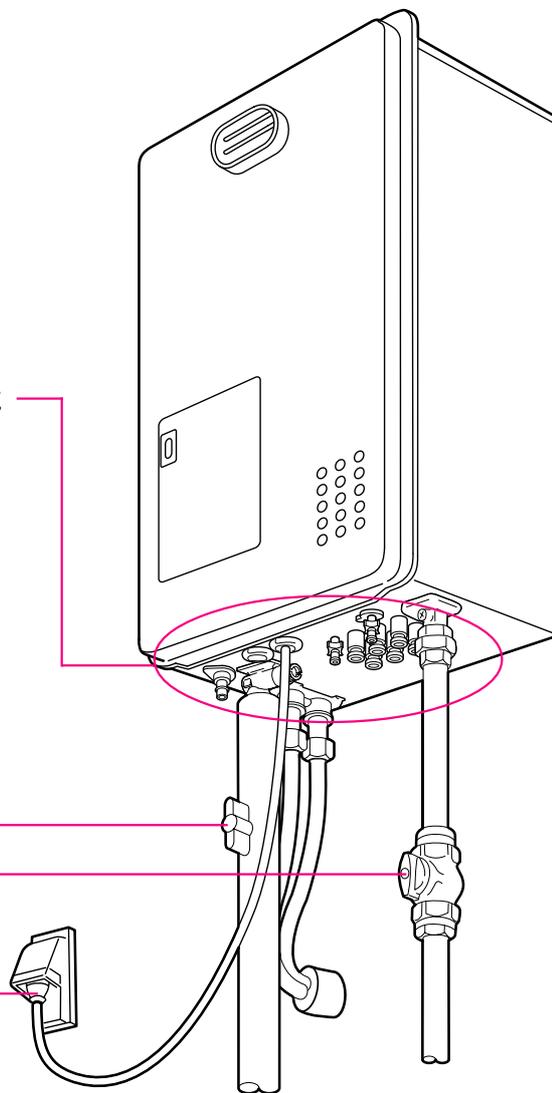


3 ガス栓を全開にする。



4 電源プラグを差し込む。
ぬれた手でさわらない

5 放熱器の準備をする。
(放熱器の取扱説明書をご覧ください。)



暖房(乾燥)する

1 暖房(乾燥)する部屋の放熱器の 運転スイッチを入れる

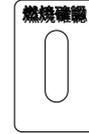
機器が燃焼すると機器の燃焼ランプが点灯します。



温水温度を自動的に調節するため、運転中でも燃焼が停止して燃焼ランプが消えることがあります。

2 使い終わったら 放熱器の運転スイッチを切る

機器の燃焼ランプが消灯します。



放熱器の取扱説明書もご覧ください。

使いかた

暖房水の補給について

給水配管がない場合

機器の燃焼ランプが断続3回点滅してお知らせした場合は、暖房水が減っていますので、暖房水の補給をしてください。

(このとき、放熱器の運転スイッチを入れても運転しません)

注意



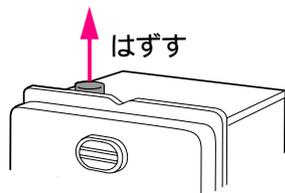
高温注意

運転直後は機器が高温になっていますので、冷えてからおこなってください。

やけど予防のため。

暖房水補給の前に
放熱器の運転スイッチを切ってください

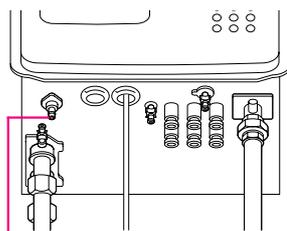
1 暖房水補給口の注水キャップをはずす



暖房水が高温になっていると湯気が出ることがありますので、冷えてからはずしてください。

2 暖房水補給口から水を入れる

オーバーフロー口から水が出るまで、やかんなどで水を補給してください。

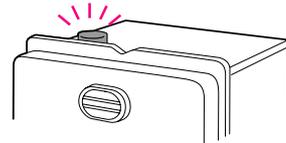


オーバーフロー口

必ず水道水を使用してください。井戸水などを使用すると故障の原因になります。

3 注水キャップを取り付ける

手ごたえを感じるまでしっかりはめ込む。

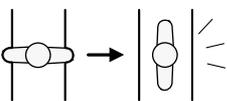


暖房水の補給は4か月に1回程度ですが、暖房・乾燥の使用時間により異なります。水の減りかたが早かったり、急に早くなった場合は、水漏れしている可能性があります。販売店または、当社営業所・サービスセンターにご連絡ください。

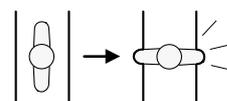
給水配管がある場合

暖房水は自動的に補給されます。

給水元栓は、開いたままにしておいてください。



万一、機器や放熱器から水が漏れたときには、給水元栓を閉めてください。



必ず、水道水を利用してください。

井戸水などを使用すると、機器の故障の原因となる場合があります。

凍結による破損を予防する

冬期に機器や配管の水が凍結して破損しないように、自動的に凍結による破損を予防します。

気温が下がってくると、凍結予防ヒータで自動的に機器内を保温し、また自動的に暖房運転(燃焼)およびポンプ循環して暖房回路の水を暖め、凍結を予防します。回路内が暖まると暖房運転を停止します。

電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。
ガス栓は開いたままにしておいてください。

不凍液を使用している場合もあります。
(機器フロントカバーのラベルで確認してください)

弊社指定の不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は、故障の原因になりますので使用しないでください。
不凍液の取り扱いについては不凍液の取扱説明書をご覧ください。

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

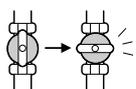
注意



高温注意

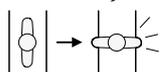
暖房使用直後は暖房水が高温になっていますので、冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

1 ガス栓を閉める。



2 (給水配管がある場合のみ)

給水元栓を閉め、



給水水抜き栓を左に回して開ける。

機器フロントカバーのラベルで、不凍液が入っているかどうか確認してください。

< 不凍液が入っている場合 >

以下の3の操作は必要ありません。

< 不凍液が入っていない場合 >

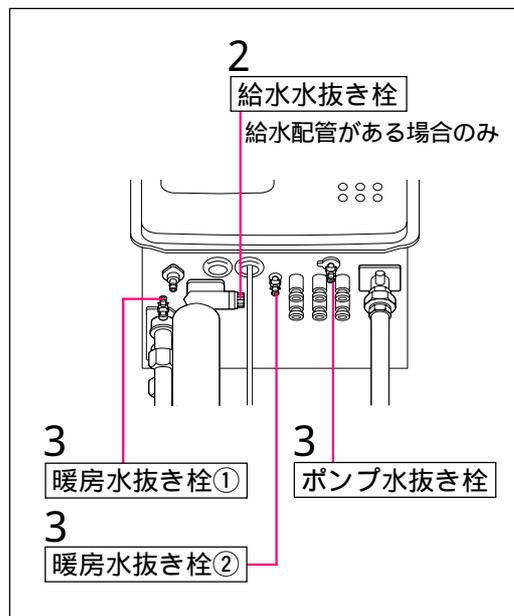
以下の3の操作で暖房側の水抜きをしてください。

ただし、放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。

3 暖房水抜き栓①②、ポンプ水抜き栓を左に回して開け、排水し、10分以上そのままにしておく。

4 完全に排水したら、すべての水抜き栓を閉める。

5 最後に電源プラグを抜く。



再使用のとき

1. すべての水抜き栓を右に回して閉める。

2. P7「初めてお使いになるときは」の手順で運転の準備をしてください。

日常の点検・手入れのしかた

点 検（定期的に）

⚠️ 注意



高温注意

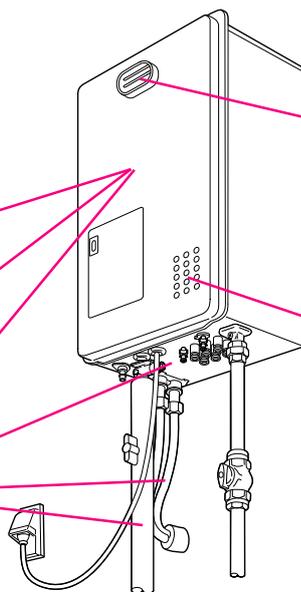
暖房使用直後は暖房水が高温になっていますので、冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

チェック 機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレ-缶など、燃えやすいものを置いていませんか。（P3）

チェック 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。

チェック 機器の外観に異常な変色や傷はありませんか。

チェック 機器・配管から水漏れはありませんか。



チェック 排気口がほこりなどでふさがっていたり、ススがついていませんか。

チェック 給気口がほこりなどでふさがっていませんか。

お手入れ（定期的に）

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

< 定期点検のすすめ(有料) >

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら

次のことを確認してください

運転しない	停電していませんか？ 電源プラグが抜けていませんか？
運転しない 機器の燃焼ランプ が連続点滅する 	ガス栓は全開になっていますか？ ガス栓を全開にして、電源プラグをコンセントから抜き (燃焼ランプ消灯)、再度コンセントに差し込むと使用でき ます。
運転しない、または途中で運転が止まる 機器の燃焼ランプが 断続3回点滅する 	<給水配管がない場合> 暖房水が不足しています。暖房水を補給してください。 (☞P9)
ときどきポンプの回転音(ウーン)がする	凍結予防のため、ポンプが自動的にはたらきます。(☞P10) 長時間使用しないときに、暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するとき支障がないようにするためです。 (約1ヶ月に1回<8分程度>)
放熱器を使っていないのに燃焼ランプが点灯する	凍結予防のため、ポンプが自動的にはたらいて燃焼します。(☞P10)

下記の場合は、販売店または、当社営業所・サービスセンターにご連絡ください。

上記以外の機器の燃焼ランプの点滅表示(例：断続2回点滅)が出るとき
上記の確認・処置をしてもなお異常のあるとき
その他、わからないとき

アフタ - サ - ビスについて

サービスを依頼される時

P12の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、当社営業所・サービスセンターにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品名 …………… FS-1201ARS-W6
お買い上げ日 ……(保証書をご覧ください)
異常の状況 ……(故障表示など、できるだけくわしく)
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください。)

保証について

この取扱説明書の裏表紙に保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設される時は、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、当社営業所・サービスセンターにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設される時は、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

製品名	FS-1201ARS-W ₆		
型式名	GH-1210W6H-2		
種類	暖房方式	温水循環方式	
	設置方式	屋外設置形	
点火方式	放電点火式		
膨張タンク有効容量	ℓ	0.8	
外形寸法	mm	高さ 600 × 幅 350 × 奥行 240	
質量(本体)	kg	20.5 (満水時22)	
接続口径	ガス	R1/2	
	暖房	高温側…QF16ジョイント	低温側…CHジョイント×6
	オーバーフロー	R1/2	
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz) W	160/160	
	待機消費電力 W	3.2	
温度制御方式	電子式ガス比例制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過電流防止装置、ファン回転数検出装置、誘導雷保護装置、ポンプ過負荷保護装置、暖房ポンプ回転検知装置、漏電安全装置		

能力表

使用ガス		1時間当たりのガス消費量 kW	1時間当たりの標準出力(能力最大時) kW
都市ガス用	13A	14.5	11.6

保証書

品番	FS-1201ARS-W6
----	---------------

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この保証書は東邦ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合本書記載内容で無料修理をお約束するものです。万一故障いたしましたときは、本証書をご提示の上、お買い上げの販売店もしくは最寄りの東邦ガス営業所に修理をご依頼ください。

無料修理保証期間

本体	お買い上げ日より2年（但し、熱交換器は3年とします。）
----	-----------------------------

保証期間中でありましても次の場合には有料修理といたします。

- (イ) 取扱説明書によらないでご使用になり、故障した場合
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
- (ハ) 火災、天災、地震等による故障、その他不可抗力による故障
- (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用）に使用された場合の故障および損傷
- (ホ) お買い上げの店、あるいは東邦ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障
- (ヘ) 熱源器に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合。ただし、当社都合の場合はのぞきます。
- (ト) 本証書を紛失された場合

お買い上げ日	平成	年	月	日
販売店	住所・店名	電話	()

保証責任者

東邦ガス株式会社

〒456-8511

名古屋市熱田区桜田町19番18号

修理記録

年月日	修理内容	サービス員印

お客さまへ

- この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店名が記入してあることを確認してください。
- 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
- この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 無料修理やアフターサービスなどについて、ご不明の場合はお買い上げの販売店または、最寄りの東邦ガス営業所にお問い合わせください。